

緊急救援活動を報告

メキシコ、インドネシア大震災

AMDAが東京で会見

アジア医師連絡協議会
(AMDA、本部・岡山市)
は二十一日、インドネシア

インドネシアとメキシコでの救援活動について報告するAMDAの医師ら



・スマトラ島とメキシコ西部で十月上旬に相次いで発生した大震災への緊急救援活動の報告記者会見を東京都内のホテルで行った。

インドネシア派遣チーム

(五人)の深谷幸雄医師(西三)

|| 長野県松本市、メキシコ

派遣チーム(四人)の岩本

淳医師(モ) || 東京都杉並区

|| と及川雅典調整員(西四) ||

同八王子市 || らが会見し、

現地での活動などについて

報告した。深谷、岩本医師らによると、インドネシア、

メキシコとも現地の医療スタッフが既に活動していたため、主に医薬品の提供と現地調査を行ったという。インドネシアでは「骨折の固定器具が不足し、適切な医療が行われていない面もあった」(深谷医師)、メキシコでは「東京で調達した医薬品の中に、日本語だけの表示のものもあった」(岩本医師)などの反省点も報告された。